

10 おわりに

老朽化が進む橋梁に適切に対応するため、本計画に基づき早期の段階で予防保全型の維持管理を行うことで橋梁の長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減を図ってまいります。今回の計画改定においては、2回目となる定期点検結果から健全性評価や修繕計画の見直しにより、コスト縮減が可能となりました。

限られた行財政資源を効率的・効果的に活用していくため、技術革新による新たな技術を取り入れ、区民の安全で豊かな暮らしを支える道路・橋梁の継続的な安全性と信頼性を確保してまいります。

本計画の策定にあたっては、横浜国立大学 池田尚治名誉教授にご協力いただきました。